

鹿児島県民の森に対する来訪者の意識について (II)

鹿児島大学農学部 中島 容子
今永 正明

1. はじめに

前報¹⁾で報告した鹿児島県民の森に対する来訪者の意識について、その後さらに開園から二年目をむかえた県民の森において調査を行った。以下、比較検討した結果を報告する。

2. 研究の場所と方法

研究の対象とした鹿児島県民の森の概況については前報で述べたとおりである。調査は前回同様、現地でアンケートにより実施され、昭和60年6月に1回、8~11月に各1回の計5回行い、510名から回答を得た。またアンケートの内容もほぼ前回のものに準じた。

3. 結果と考察

1) 前回の比較

回答者の性別比、年齢、職業の構成は前回とほぼ同様であった。また来訪者は県内からが97%と大部分で、鹿児島市内から来た人が半数を占めるのも同じであるが、県民の森が位置する地元の三町からの来訪者は、前回の27%から14%と半減している。

来訪目的は「自然観察」が17%と半数以下になり、「一目見ようと思って」が23%で今回はこれが一番多かった。「一目見ようと思って」の項目は新しく設けられたもので、前回はこの項目を回答すべき人が「自然観察」と回答していたのではないと思われる。

来訪者が訪れた場所を自然的色彩の強い場所と人工的色彩の強い場所に分けて図-1に示す。今回も人工的色彩の強い場所にかたよっている。また人工的施設の利用が少なくなっている中で広場の利用は増えている。これは県民の森が自然との接触の場としてでなく、単なるレクリエーション施設として利用される傾向になってきていると思われる。

また、県民の森で最もよい印象を受けた場所として人工的色彩の強い場所に魅力を感じる人の割合は前回は71%であったのが今回56%に減っている。一度見ればあきってしまう人工的施設が減少したのに対し、フィールドアスレチック(前回のトリムとは別の新しい施設)

や自然的色彩の強い場所に人気が移行している。

遊歩道を歩いた人は32%から37%となり、また前回は自然観察の目的で来ていながら遊歩道を歩いた人は42%であったが、今回は56%とこれも増えている。

森林の取扱いに関する質問「県民の森の森林を美しく維持するためには」に対しては「人手を加えるべき」が17%、「加えるべきでない」が21%であった。前回はそれぞれの回答が24%と16%であり、両者の結果が入れ替わっている。

このように今回の調査結果を前回と比較すると一部に違いがみられたが、全体的には大きな差はなく前回と同じような傾向であった。

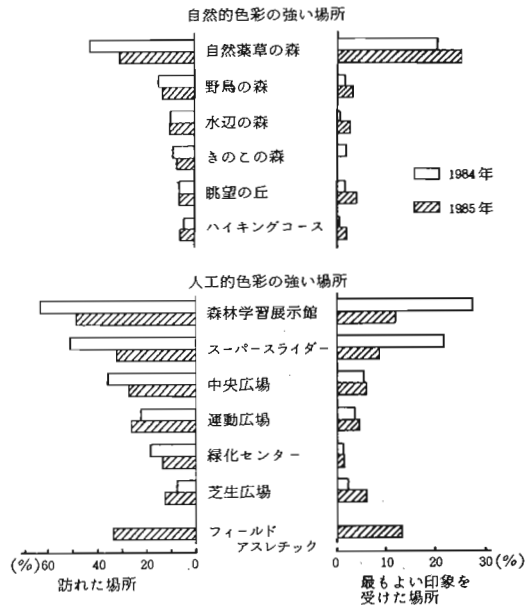


図-1 県民の森で訪れた場所と最もよい印象を受けた場所

Youko NAKASHIMA and Masaaki IMANAGA (Fac. of Agric., Kagoshima Univ., Kagoshima 890)
Visitor's opinion on the Kenmin-no-Mori recreational forest in Kagoshima

2) 来訪回数にみる来訪者の意識の違い

表-1をみると来訪回数が1~3回までは来訪者の目的は全体に及んでいる。それが4回以上になるとすべての回数に数字がでてくるのは自然観察とドライブに限られる。これは県民の森が广大で諸施設を利用するには数回の来訪を要するためではないかと思われる。そこで上述したように来訪回数が3回以下と4回以上では異なる傾向にあるので分析を行った。

表-2に示したようにすべての場所で4回以上訪れた人がより多く利用しており、遊歩道の利用も高い。森林の取扱いに関しては4回以上は森林維持のため人手を加えるべきでないという意見が多いが、他はほとんど差はみられない。また再訪の希望は4回以上の方がやや強い。

3) 来訪目的による来訪者の意識の違い

より詳しく来訪者の意識を把握するため、前回と今回の二年分のデータを用いて来訪目的による来訪者の意識の違いがみられるか分析を行った。なお分析は来訪目的の中で、自然観察を選んだグループとそれ以外の二つのグループに分けて行った。

その結果は森林の取扱いに関してはほとんど同じであったが、自然観察が目的で訪れた人は自然的な場所よりも、人工的な場所もよく利用している。遊歩道の利用も高く、再訪の希望も積極的な人が多い。このように自然観察が目的で訪れる人の意識は高いものと思われるので、こうした人の意見の分析がもっと必要と考えられる。

4. おわりに

今回の結果を前回と比較すると全体的に大きな違いはなく同じような傾向であった。ただ森林レクリエーションの場としてでなく単にレクリエーションの場としての利用の傾向がみられるのは、本来の設置目的からはずれるので懸念される。

今回の調査では来訪回数が1~3回と4回以上で意識の違いがみられた。回数を重ねて訪れる人の方が県民の森の施設をよく利用し森林にも親しんでいる。実際に一日で全施設を利用することはできないので、数回に分けて訪れ、来るたびに魅力を感じる施設の充実が必要であろう。また回数を重ねて訪れる人や自然観察が目的で訪れる人の意識は高いものと思われるので、今後これらの意見を県民の森の管理運営に役立てることが望まれる。

なお、御助言いただいた本学部吉田茂二郎講師並びに調査実施に御助力いただいた長野浩行氏に厚くお礼申し上げます。

表-1 来訪回数別来訪目的

| 回数 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 6回以上 |
|----------|------|------|------|------|------|------|
| 目的 | 9.9 | 8.3 | 16.1 | 7.7 | 6.6 | 25.0 |
| ただ何となく | 9.9 | 8.3 | 16.1 | 7.7 | 6.6 | 25.0 |
| スポーツ | 5.2 | 6.9 | 6.5 | 7.7 | | 12.5 |
| キャンプ | 18.9 | 15.3 | 6.5 | 7.7 | | |
| 登山・ハイキング | 4.2 | 1.4 | 16.1 | | 6.6 | |
| 自然観察 | 12.3 | 27.8 | 12.9 | 30.8 | 40.0 | 12.5 |
| 一目見ようと | 32.5 | 12.5 | 9.7 | | | |
| ドライブ | 10.4 | 20.8 | 29.0 | 38.5 | 40.0 | 12.5 |
| その他 | 6.6 | 7.0 | 3.2 | 15.3 | 13.4 | 37.5 |
| 来訪者数 | 256人 | 86人 | 38人 | 17人 | 16人 | 10人 |

表-2 来訪回数・来訪目的別の調査結果の比較

| | 来訪回数 | | 来訪目的 | |
|------------|------|------|------|--------|
| | 1~3回 | 4回以上 | 自然観察 | 自然観察以外 |
| 来訪場所 | 9.9 | 9.9 | 9.9 | 9.9 |
| 自然的色彩の強い場所 | | | | |
| 自然薬草の森 | 31.6 | 46.5 | 52.0 | 33.2 |
| 野鳥の森 | 11.6 | 30.2 | 19.4 | 13.4 |
| 水辺の森 | 9.7 | 30.2 | 14.3 | 10.9 |
| きのこの森 | 6.8 | 13.4 | 10.6 | 8.6 |
| 人工的色彩の強い場所 | | | | |
| 森林学習展示館 | 48.9 | 58.1 | 63.0 | 54.3 |
| スーパースライダー | 30.2 | 53.5 | 45.8 | 42.2 |
| 中央広場 | 25.5 | 60.5 | 35.5 | 31.1 |
| 芝生広場 | 12.6 | 23.3 | 12.1 | 11.2 |
| 遊歩道を歩いた人 | 37.1 | 58.1 | 45.8 | 29.6 |
| 森林の取扱いについて | | | | |
| 森林維持のため | | | | |
| 人手肯定的 | 68.4 | 65.1 | 74.0 | 71.0 |
| 否定的 | 21.0 | 30.2 | 18.7 | 18.7 |
| 森林伐採 | | | | |
| 伐採肯定的 | 77.6 | 76.3 | 72.4 | 72.7 |
| 否定的 | 17.9 | 16.7 | 24.3 | 20.4 |
| 再訪の希望 | | | | |
| ぜひもう一度 | 44.4 | 46.5 | 53.5 | 40.3 |
| 機会があれば | 50.8 | 53.5 | 41.4 | 49.7 |
| 特に思わない | 2.9 | 0.0 | 1.1 | 3.2 |
| わからない | 1.9 | 0.0 | 4.0 | 4.1 |

(平訪場所には複数回答をふくむ、無回答は除く)

引用文献

(1) 中島容子・鮎川広幸・今永正明：日林九支研論 39, 21~22, 1986